

整理番号 2024M-147
補助事業名 2024年度 福祉機器の整備 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 愛寿会

1 補助事業の概要

超高齢化社会により介護施設での夜間転倒・転落、体調低下のリスクが増加し、職員の負担も大きくなっています。これを解決し、介護の質の向上や個別ケアを実現するため、見守り支援センサーシステム一式（「眠リスクキャン」パラマウントベッド株式会社）を導入し、リアルタイムでの見守り体制を構築することを目的としました。

2 予想される事業実施効果

1. 安全性と健康管理のさらなる向上

① 予防的ケアの強化

睡眠データの蓄積により、将来的に転倒やその他の健康リスクを予測し、予防的なケアが強化されると期待されます。

② 早期診断の促進

睡眠パターンの異常を早期に検知することで、認知症や睡眠障害などの早期診断が促進される可能性があります。

2. ケアの質のさらなる向上

① パーソナライズドケアの深化

より詳細なデータ分析により、個々の利用者に合わせた高度なパーソナライズドケアが可能になると考えられます。

② ケアプランの精緻化

長期的なデータを基に、利用者の状態に応じたより精緻なケアプランの作成が可能になります。

3. 効率化と業務負担のさらなる軽減

① AI の活用

AI 技術を活用したデータ分析により、異常検知の精度が向上し、スタッフの業務負担がさらに軽減されると予想されます。

② リモートモニタリング

リモートでのモニタリング技術が進化することで、見守りがより効率化される可能性があります。

4. 家族への貢献

① 家族との連携強化

家族が利用者の状態をデータに基づいて把握できるようになることで、家族との連携が強化され、安心感が増すと期待されます。

5. 未来の医療・介護の進化

① テレケアの普及

将来的には、テレケア（遠隔医療・介護）が普及し、都市部と地方間の医療・介護格差が縮小されることが期待されます。

② 教育・トレーニングの高度化

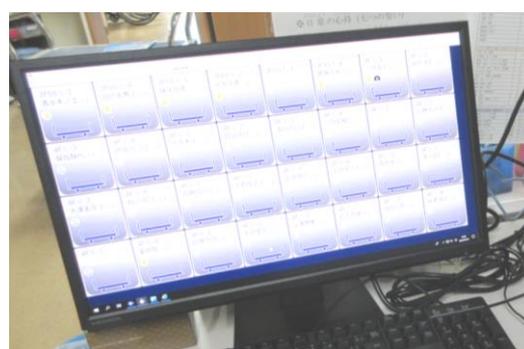
見守りシステムを活用したケアスタッフの教育・トレーニングが高度化し、スキルアップが図られる可能性があります。

これらの予想される効果により、「眠り SCAN」は今後ますます重要な役割を果たし、利用者の健康・福祉の向上、ケアの質の向上に貢献することが期待されます。

3 本事業により導入した機器

① 見守り支援センサーシステム一式（パラマウントベッド株式会社 眠りスキャン） (<http://ai.jyukai.com/pdf/download/jigyokanryou.pdf>)

パラマウントベッドの「眠りスキャン」は、ベッド下に設置するセンサーで睡眠状態をリアルタイムにモニタリングします。データは専用ソフトで管理し、Wi-Fi通信が可能です。利用者の自然な睡眠を妨げず、効果的な見守りを実現します。



設置場所

- 特別養護老人ホーム仁生園
- 仁生園ショートステイセンター
- グループホームやすらぎ
- グループホームこあらま

② 本事業に係る印刷物等

社会福祉法人愛寿会の機関紙 愛寿会だより

(<http://aijyukai.com/pdf/newsletter/AijyuenDayori256.pdf>)



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人 愛寿会

(シャカイフクシホウジン アイジュカイ)

住所： 〒408-0031

山梨県北杜市長坂町小荒間1293番地

代表者： 理事長 小宮山 光彦 (コミヤマ ミツヒコ)

担当部署： 法人事務局

担当者名： 事務企画部長 坂本 仁 (サカモト ヒトシ)

電話番号： 0551-32-3340

F A X： 0551-32-3546

E-mail： jinseien@poem.ocn.ne.jp

U R L： <http://aijyukai.com>